

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10
電話 098-930-2525(にこにこ)
FAX 098-933-1324
ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>
メール info@ryokujukai.or.jp



(緑樹苑内撮影)

九十歳近いSさんは私の担当(生活保護)だった。晩年の嵐寛寿郎似の面持ちは、若い頃のイケメンを偲ばせる。年の瀬も押し迫った日、Sさんを訪ねると、丹前を着て包まるようにコタツで横になっている。体調が芳しくないようなので、額に掌を当ててみると熱がある。

病院で診てもらおうと説得するのだがSさんは頑として首を縦に振らない。娘さんへの連絡をと話すと、Sさんは「さんていんしむん」と声を荒げた。私は救急車を呼び、Sさんを病院に搬送してもらった。Sさんは点滴をしながら病院のベッドで虚ろな眼で天井を見詰めている。娘さんに電話で入院のことを告げたのだが、来てもらえそうにもなかった。それでも諦めずに何度か電話をすると、娘さんは、あの人とは親でも子でもないと言った。

Sさんはやんばるの出身で、若い頃に妻子を置いて村を出て、那覇や福岡、大阪と放蕩したあげく、娘さんが就職すると職場まで来て娘さんに無心を繰り返したと言う。そして母親や兄の葬儀にもSさんは姿を見せなかったらしい。

私は一縷の望みをかけて、娘さんが来てくれるのを病院で待ち続けた。やおらSさんが目を開けて点滴の管の刺さった右手を挙げた。尿意をもよおしたようだった。私が側に置いてある尿瓶を取って、尿の介助をしてやると、Sさんは弱々しげな視線で私を見上げ、「ありがとう」と言った。Sさんからお礼の言葉を聞くのは初めてだった。

夜の十時を回った頃、看護婦(師)さんが「後はこちらでしますから」と言ってくれたので、私はSさんを残して帰ることにした。娘さんはやっぱり来なかった。それでも私は娘さんを酷い人だとは思わなかった。たとえ過去に何があったとしても、年輩いた親を見捨てることに、他人はとやかく言いがちだけれど、娘さんはそれくらいのこと承知で親を捨てたのだ。それでも、何故か虚しさが込み上げてきて、気持ちが悪く整理できなかった。(富永健)

夏まつりを開催 介護老人福祉施設緑樹苑



割れないスイカ!?に苦笑い

介護老人福祉施設緑樹苑では、8月5日(金)、入居者42名、職員15名で夏まつりを開催した。

まずは最初に4カ所に輪投げ版を設置し、輪投げ大会を行った。普段から輪投げは時々レクレーションでもやったりするため、中には慣れた手つきの方もおり、楽しいゲームになった。次のスイカ割大会では、入居者の皆さんは力加減が分からず、戸惑いがちだったけれど、昔スイカ割をやった頃のことを思い出し、みんなハッスルして楽しいひと時となった。

最後は、全員で「月が出たら」を踊り、たくさん笑い盛り上がった中、終了した。

(兼城正彦)



かき氷で涼をとり、盆踊りや釣りゲームも “涼み会” を開催 ケアハウスていんさぐぬ花



8月10日(水)、ケアハウスていんさぐぬ花「涼み会」を開催した。

夏祭り風に飾り付けした会場に利用者をご案内して、かき氷とぜんざいで涼を取って頂いた。奥古田施設長の挨拶に始まり、浴衣やはっぴを着た職員の先導で盆踊りの『炭坑節』を全員で踊るとすっかり夏祭りの雰囲気になってきた。次にゲームタイムで釣りのゲームでお菓子を釣ったり、輪投げで獲得した景品に利用者の皆さんも、終始笑顔であった。ふだんのレク活動には参加しない方も積極的に参加して楽しんでいた。ゲーム終了後は、全員による盆踊り第二弾『肝がなさ節』と『かりゆし糸満』を踊った。最後に福引が行われ、参加者全員が景品を貰い、笑顔の中閉会した。

(松尾涼子)



旧盆中日、各施設でエイサー

旧盆エイサー



沖縄の夏の風物詩となっている旧盆のエイサー。この時期は、県内各地でエイサーの太鼓が鳴り響き、それぞれの地域の特色あるエイサーが披露される。特に沖縄市は、各地の青年会はもちろんだ、全島エイサーまつりの開催などエイサーが盛んな地である。

緑樹会でも恒例の行事となつているエイサーが、旧盆の中日にあたる8月16日(火)、各施設で、利用者の皆さんに披露された。

ケアハウスていんさぐぬ花を皮切りに、エイサーはいびすかす、総合福祉センター



ター緑樹苑と道ジュネーが行われ、軽快な三線の音色に合わせ、力強い太鼓の音が鳴り響き、勇壮なばちさばきや掛け声とともに、空手の型を取り入れた力強い男踊りや女性らしい柔らかな動きの女踊りが利用者の皆さんを楽しませた。

利用者の皆さんは、太鼓に合わせて手拍子したり、掛け声をいれたりエイサーを楽しんだ。演武終了後には、涙を流して喜ぶ方もおり「良かったよ」と握手しながら職員を労った。

(砂川智規)



みどり学童クラブ 楽しい♪ 楽しい♪ 夏休み!! ~前編~



子ども達にとって待ちに待った夏休み。その中で学童クラブでは楽しい思い出作りにと、遠足を企画しました。まずは7月27日(水)に行った県総合公園のレクリエーションプール。夏といえば水遊び!という事で、子ども達も楽しみにしていた様子。流れるプールで泳いだり、追いかけてっこをしたり。中でも大人気だったのがウォータースライダー!ひたすら並んで滑り続ける子ども。身長制限で滑れなかった子もいてとても残念そうでしたが、来年は大丈夫なはず!



8月5日(金)には、沖縄タイムスの印刷工場へ、工場見学に行きました。印刷の紙を自動で運んでくるロボットや、印刷して出てくる新聞のスピードの速さに子ども達は大興奮!新聞が出来るまでの過程を見ながら、それぞれが小さな発見をしながら、工場見学を楽しんでいました。



8月9日(火)は水遊び第二弾!という事で倉敷ダムへ。連日の天候不良が心配でしたが晴れ間も見え、真夏の暑さを感じながら川遊びをしました。小さな石を運びながら小さなダムを作ったり、エビや小魚を探したり、水鉄砲で遊んだり、時間も忘れて楽しみました。



~衛生・感染対策勉強会~ 緑樹苑住宅サービス事業所



本格的な暑さを控えた梅雨時の6月17日に、ヘルパー(訪問介護員)の定例勉強会を行った。食中毒など衛生面の管理強化の時期とのことで、つねひで産業の嘉手苧秀樹代表取締役社長を講師にお迎えし、衛生・感染対策について教授。細菌とウイルスの違い、見た目のきれいさと「衛生的」であることの違いや、食中毒予防の三原則、細菌を「つかない」「増やさない」「やっつける(殺菌・消毒)」を学んだ。



一番に気をつけたい「細菌を「つかない」ための手洗い実習では、特殊な粉を降りかけ手洗いし、洗浄できなさをブラックライトを当てて確認した。いつもよりも若干?念入りに洗ったと思いきやライトに照らしてびっく。各々の洗えてない箇所がしっかりマーキングされ、苦笑いの場面も。その後の質疑タイムでは、さらに暑さが増す季節の気になる対応への質問が飛び交い、嘉手苧社長には時間延長でお応え頂いた。在宅利用者への安全・安心を支えるヘルパーの重責とそれに積極的に向き合う姿勢に、頼もしさを感じた。

(幸喜穂乃)



ケアハウスはいびすかす 家族会清掃&総会交流会

施設内の清掃、ご家族との交流、今年度の事業計画も

12月には開所十周年記念祝賀会も予定

7月16日(土)、ケアハウスはいびすかす家族会清掃及び総会が行われ、15組(23名)のご家族が参加した。

清掃では各居室の床やベッド周りのほか、普段は行き届かない窓ガラスサッシ、網戸部分なども丁寧に拭き掃除が行われた。

清掃後には家族会総会が開催され、仲嶺真一会長の進行により平成27年度事業報告、決算報告と平成28年度事業計画(案)、事業予算(案)等の審議及び承認が行われた。交流会では、金城施設長から、今年12月には、はいびすかす十周年記念祝賀会を予定している旨説明すると、参加者からは賛同する声があり、オードブルを囲みながら祝賀会の話題で盛り上がった。最後に大城律也副会長から閉会の挨拶で交流会を終了した。(崎山菜月)



後援会ふれあいパーティーのご案内

平成28年度緑樹会后援会ふれあいパーティーを下記の日程で開催いたします。友人や知人お誘いあわせのうえ、ご参加くださいますようご案内申し上げます。

- ◆日時:平成28年10月13日(木)18:00～19:30
- ◆場所:緑樹苑デイサービスセンター
- ◆会費:1,000円(飲食代として)

後援会事務局だよ



※年会費納入がまだの方は、下記の口座へお振込みをおねがいたします。

《年会費振込先》

沖縄銀行 普通口座 No.1428115
 名義:(福)緑樹会緑樹メンバーズ
 代表 與座達男

PHPかりゆし友の会・定例会のご案内

PHPかりゆし友の会は、「素直な心になりましょう」をモットーに、学習会や交流会等を行っています。セミナー開催時に入会受付を行っておりますので、是非、ご参加ください。

(参加ご希望の方は、下記の連絡先へ直接ご連絡ください)

- 日時:平成28年9月15日(木)18:00～19:00
- 場所:総合福祉センター緑樹苑
- 内容:中村初子氏(沖縄可否の会)を講師に招き、朗読会
- 連絡先:080-1542-8543(與古田)、090-1945-0752(田中)

礼楽塾

礼楽塾とは、緑樹会に集う人々が「礼」によって美しく調和し、「楽」によって自らの人生を謳歌することを目的に行われる後援会会員のための活動です。日程が変更になる場合もあります。参加ご希望の方、また新たに活動を始めたい方、こんな活動があったらいいなアイデアも、ぜひ、事務局までご連絡下さい!(*印は、会場が講師の道場等となります。)

- | | | | |
|-----------|---------|---------|------------|
| ■三板 | 第2・4(火) | ■王府おもろ* | 第2・4(水) |
| ■御座楽・路次楽* | 毎週(火) | ■応急手当法 | 第3(木)*変更あり |
| ■島言葉 | 第1・3(水) | ■湛水流三線 | 第3・4(月) |
| ■クエーナ | 第1・3(水) | ■PHP勉強会 | 各施設ごと |

防災マップのつくり方 ～私たちに今できることは～

平成28年度第3回 沖縄市高齢者支援センター相談協力員連絡会
地域の災害発生個所を予測し、防災意識の啓発、災害時の行動を共有



7月13日(水)、コザ運動公園内武道館会議室で、高齢者支援センター相談協力員連絡会が開催された。会には、緑樹苑が担当する地域(胡屋・諸見里・南桃原・山内)の相談協力員、自治会長など計31名が参加した。

『防災マップのつくり方』私たちに今できることは』をテーマに、沖縄市役所防災課職員を講師に招き、災害図上訓練DIGと自主防災組織の取り組みについて学んだ。災害図上訓練DIGとは、実際の地図を使い参加者自身の持つ持っている情報(避難場所や浸水・冠水・土砂災害



が起り得る場所等)を落とし込んでいき、地域の災害に対する強さを確認し、今後の防災に繋げていく訓練である。参加者は、日頃生活している地域を思いだしながらお互いに確認しあいマップを作りあげていった。

会を終え、参加者からは、「マップを作成する事で課題が目に見えてくる。行動するべきことが分かる」「日頃から防災について関心を持っていた方が良いと思った」などの声があがった。

今後も地域づくりに繋がるような勉強会を開催していきたい。(比嘉久美子)



私の所属する給食センターでは、沖縄市在住の利用者の方へお弁当をお届けしています。

食事を美味しく食べることは、日々の健康づくりのためにも大切な事だと思っています。

美味しい食事を食べた時、人は、ささやかですが幸せな気持ちになります。元気が出てきます。また、高齢者の方々にとっての食事はとても大きな楽しみの一つでもあると思っています。

栄養バランス、食べやすさ、味や盛り付けなどにも気を配り、食べていただけた方々に喜んでいただけたら、美味しいお弁当をお届けし、笑顔になっていただければと思います。



緑樹苑給食センター 調理員

目取真 尚樹

シリーズ
職員エッセイ

9月行事・活動予定

	介護老人福祉施設緑樹苑	ケアハウスはいびすかす	ケアハウスていんさくぬ花	緑樹苑デイサービスセンター	みどり学童クラブ
1(木)		カラオケクラブ	輪投げ	ハンドマッサージ	
2(金)				手芸クラブ	
3(土)			手工芸		園外活動
4(日)			体重測定		
5(月)		手芸クラブ			
6(火)		三線	スカッシュボール	手作りおやつ会	
7(水)		ミニシアター	民踊り		
8(木)	防災訓練		歌会	防災訓練	
9(金)			防災訓練	手芸クラブ	
10(土)			輪投げ		読み聞かせ・園外活動
11(日)	緑樹会敬老会	緑樹会敬老会	緑樹会敬老会		
12(月)		書道クラブ	ボウリング		
13(火)		三板クラブ	手工芸	映写会	
14(水)		防災訓練	釣りゲーム		
15(木)		カラオケクラブ・美化活動	スカッシュボール	デイサービス敬老会	
16(金)		はいびすかす敬老会	輪投げ	デイ敬老会・手芸クラブ	
17(土)			ていんさくぬ花敬老会		園外活動
18(日)					
19(月)		お茶クラブ	歌会	誕生会	学童休園日
20(火)		三線	映写会		
21(水)		ミニシアター	輪投げ	映写会	
22(木)		散髪・おやつ会	散髪	手作りおやつ会	学童休園日
23(金)	誕生会		誕生会	手芸クラブ	
24(土)			ボウリング		読み聞かせ・園外活動
25(日)					
26(月)		書道クラブ	手工芸		
27(火)		三板クラブ	民踊り		
28(水)	防災訓練	防災訓練	お茶会	防災訓練	
29(木)			スカッシュボール	映写会	
30(金)		誕生会	映写会	手芸クラブ	

今月19日は「敬老の日」

9月の第三月曜日は『敬老の日』です。多年にわたり、社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、長寿を祝う日、となっています。

また、老人福祉法では、9月15日を『老人の日』とし、この日から21日までを老人週間と定めています。国民の間に広く老人の福祉についての関心と理解を深めるとともに、老人に対し自らの生活の向上に努める意欲を促すため、老人の日及び老人週間を設ける、とされています。

感謝を込めて長寿を祝いましょう。

編集後記

トウシビー(生年祝い)の時に、祝いの杯を受けることが皆さんもあると思います。トウシビーは「お祝い」としてありますが、本来は厄払いで、杯を受けるのは、その人の厄を少しずつ皆で分けて持つという意味があるそうです。

しかし、そのトウシビーの方と同じ干支の人が杯を受けた場合、どちらかがサーマキ(霊力負け)して体長を崩すことがあると言われています。

地域によっては、考え方の違いや、似たような風習でも意味合いが異なり、気をつけなければならぬ場合もあるようです。(砂川智規)